

令和5年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析	
国語	校内平均値では、全ての学年で目標値を大きく上回る結果となった。また、観点別正答率においても、全学年で全ての観点の目標値を上回る結果となった。「主体的に学習に取り組む態度」においては、目標値は上回っているが、校内研究の重点でもあるため、引き続き授業改善の視点としたい。
社会	校内平均値では、全ての学年で目標値を上回る結果となった。また、観点別正答率においても、全学年で全ての観点の目標値を上回る結果となった。今後も、資料の読み取り方を丁寧に指導し、情報を正確に取り出す能力を高める指導を行っていく。また、学年の実態に応じた課題を明確にし、授業改善の重点を定めて、取り組む必要がある。
算数	校内平均値では、全ての学年で目標値を大きく上回る結果となった。また、観点別正答率においても、全学年で全ての観点の目標値を上回る結果となった。校内研究を軸とした授業改善に全校で取り組んだことにより、児童の定着度が十分高まったと捉えられる。今後も、探究的な学習プロセスを通して、学習意欲を向上させ、主体的・対話的で深い学びを目指す。
理科	校内平均値では、全ての学年で目標値を上回る結果となった。また、観点別正答率においても、全学年で全ての観点の目標値を上回る結果となった。今後も、理科で学習したことと日常生活を関連付けて考えていくようにして、さらに興味や関心を高めていく。

本校の教育目標
<p>○よく考え、自ら学ぶ子 各教科等の見方・考え方を働かせながら主体的・協動的に学ぶ子</p> <p>◎思いやりのある子 規律を重んじ、自他の生命や人格を尊重しながら互いに高め合う子</p> <p>○健康でたくましい子 健康な体と健全な心をもち、何事にも前向きに粘り強く挑戦する子</p>

本校が児童に育成したい力
<p>よりよいものを求め、追求して考えようとする児童の姿を実現させるために、次の力を育成する。</p> <p>○自ら問いをもち、粘り強く学び続ける力</p> <p>○友達の考えのよさが分かり、学び合える力</p> <p>○自分の学びをモニターして振り返り、自己調整しながら考える力</p>

学力向上にかかわる経営方針
<p>◇探究的な学習プロセスを通して、学習意欲を向上させ、主体的・対話的で深い学びを実現し、各教科等の見方・考え方を広げ、深める指導の工夫を図る。</p> <p>◇基礎的な知識及び技能を身に付け、思考力、判断力、表現力を働かせて課題解決を図る学びに向かう力、人間性の育成を図る。</p> <p>◇一人1台端末を用いた個別最適化での指導や家庭学習の進め方の工夫による個に応じた指導の充実。</p> <p>◇特別支援教育及び個に応じたきめ細やかな指導の充実に向けた習熟度別少人数指導、授業改善推進プランの推進及び教員研修と校内研究の充実を図る。</p>

校内における学力向上推進体制
<p>①研究推進委員会を中心に校内研究を推進し、授業改善を進めていく。</p> <p>②「五五小学習スタイル」を確立し、学習環境を整えて指導にあたる。</p> <p>③少人数指導、チームティーチングによる学習指導を効果的に行い、教職員が連携をとり個に応じた指導を推進する。</p> <p>④GIGAスクール構想に沿って、学習用タブレット端末を活用して学習の個別最適化を図ると共に、家庭学習の充実を図る。</p>

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>◇授業展開(問題解決の4段階の過程を通した授業スタイル)の工夫</p> <p>◇前時までの振り返りを活用した学習の見通しがもてる導入の工夫</p> <p>◇互いの考えのよさを伝え合い、高めることのできる全員が参加する学び合いの工夫</p> <p>◇A4ノートの余白に自由記述欄を設け、メタ認知がしやすくなる工夫</p> <p>◇振り返りの時間(学びの手ごたえ)を充実させ、学びの質や変容のきっかけを、客観的に振り返ることを積み重ねる。</p>	<p>◇校内研究を軸に、思考力、判断力、表現力等の育成を図る計画を立て、「ひらめきノート」を活用したノート学習指導を充実させ、自分の考えを効果的に表現する力を高める。</p> <p>◇北区GIGAスクール構想を実現させるために、学習用タブレット端末を用いた個に応じた授業改善や家庭学習の充実を図り、学力の定着を図れるように計画する。</p> <p>◇東京ベータシグナドイルやスタディサプリ、ライズeライブラリを活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図ることができるようにする。</p>	<p>◇「学びに向かう力、人間性を育む算数教育」をテーマに校内研究を進め、全校体制で授業改善を行う。</p> <p>◇全校一斉型SSE「ほかほかタイム」に取り組み、周りの友達とよりよく関わり合うためのコミュニケーションスキルの向上を図る。</p>	<p>◇評価規準・評価方法の明確化に努める。ねらいと評価規準が明確な授業を積み重ね、適正で妥当性のある評価活動を実践する。</p> <p>◇「全国学力・学習状況調査」や「児童・生徒の学力向上を図るための調査」からどこでつまづいているのか等を分析し、学習指導の改善と充実を図る。</p>	<p>◇授業及び行事の公開、道徳授業地区公開講座等、積極的に教育活動を公開し、教職員の授業改善に向けた意識を高める。</p> <p>◇十条大好きプロジェクト、ゲストティーチャーによる授業等を取り入れ、地域に根ざした教育を推進する。</p> <p>◇学校と学校運営協議会が密接な連携をとり、学校の取組と保護者や地域ボランティアの活動と連携させながら、分かり易い授業が行われているかを評価、検証をする。</p>